

## 16 Sounds of Paper ワークショップ参加者募集！



The notebook (Installation), Daniel Djamo, 2015, KKW (Leipzig)

「2028年には世界の極右化が進み、EUが崩壊、アメリカはメキシコとの国境に壁を建設し終え、日本では経済的・政治的困難から韓国への移住が増加しているかもしれない…」

アーカスプロジェクト招聘アーティストとして守谷市に滞在中のダニエル・ニコラエ・ジャモ（ルーマニア）がワークショップ参加者を募集します。

このワークショップでは、現在の社会情勢を反映しつつ2028年という未来について考えます。参加者には2028年に日本に住んでいる人（国籍は日本人とは限らない）の人生（仕事、家族、日本を離れることにした理由）などを想像し、そのストーリーを自由に書いていただきます。集まったストーリーは後日アーティストのプロジェクトの一部として発表される予定です。

現在私たちが社会で直面している困難や、過去の紛争を反映させながら、戦争や紛争を経験したことのない若者が紡ぎだす想像上の‘証言’は、どんな‘未来’を描き出すのか。アーティストと対話しながら未来について考えてみたい方などのご参加をお待ちしております。

---

日時：10月7日（土）14:00

\*その他の日程も調整可能です。ぜひご相談ください。

時間：約2時間

場所：アーカススタジオ（守谷市板戸井2418もりや学びの里内）

対象：16～30歳ぐらいまで（国籍は問いません）

備考：アーティストは英語を話します。ワークショップには日英の通訳が入ります。

ワークショップではひとりひとりの参加者にストーリーを書いていただき、書いたものは後にアーティストの制作活動の一部として公開される予定です。（その際イニシャル、または氏名を記名していただきます。）

お問合せ先：アーカススタジオ Tel: 0297-46-2600 / Email: arcus@arcus-project.com